

一般財団法人 日本国際政治学会 2021年度研究大会 分科会プログラム

本プログラムは、2021年7月20日現在の暫定版です。最終的なプログラムは学会ウェブサイトに掲載いたしますのでご了承ください。本プログラムに関するお問い合わせは、分科会代表幹事（齋川貴嗣：saikawa@tcue.ac.jp）までお願いいたします。

今年度もオンライン開催となりますが、プログラム運営の都合上、終了時間後間もなくセッションは自動的に終了します。そのため、分科会の終了後に別途、オンラインで独自の意見交換・懇談の場を設ける分科会もありますので、各分科会での案内をご確認ください。

◆10月29日（金）

分科会セッション A（15:45～17:45）

A-1 日本外交史分科会 I 責任者 高橋 和宏（法政大学）

テーマ 冷戦終結と今後の日本外交史研究

司会 高橋 和宏（法政大学）

報告 和田 潔（外務省外交史料館）

「外交史料館における冷戦終結期外交記録公開の状況」

武田 悠（広島市立大学）

「冷戦終結期の日本外交史研究の現在と今後」

討論 沼田貞昭（日本英語交流連盟）

青野 利彦（一橋大学）

井上 正也（成蹊大学）

A-2 東アジア分科会 責任者 荒川 雪（東洋大学）

テーマ 中国外交部档案へのアクセス困難下での中国外交史研究の現状と国際共同研究の可能性
【英語および日本語で実施】（ペーパーは日本語または中国語（日本語訳付き））

司会 荒川 雪（東洋大学）

報告 蔣 華傑（上海大学）

“Overcoming the Obstacles: Current Status and Future of Diplomatic Historical Research in the PRC”

蕭 道中（輔仁大学）

“Overview of Taiwanese Diplomatic History Research Materials and the Possibility of Using Taiwanese Historical Materials in Researching Chinese Diplomatic History”

杉浦 康之（防衛省防衛研究所）

「現代中国外交史研究における日本側資料利用の可能性——日中国交正常化以前を中心に」

討論 加茂 具樹 (慶應義塾大学)
張 雲 (新潟大学)

A-3 東南アジア分科会 I 責任者 増原 綾子 (亜細亜大学)

テーマ 東南アジアと欧米をめぐる国際関係の諸相

司会 増原 綾子 (亜細亜大学)

報告 加藤 博章 (関西学院大学)

「インドシナ難民問題の国際政治史的側面——冷戦と人道の狭間で」

永田 伸吾 (金沢大学)

「5 カ国防衛取極 (FPDA) 再考——英国のインド太平洋傾斜における東南アジア」

討論 青木 まき (アジア経済研究所)

鈴木 陽一 (早稲田大学)

A-4 安全保障分科会 責任者 佐竹 知彦 (防衛省防衛研究所)

テーマ Technological Innovation and International Nuclear Order

【英語による実施】

司会 森 聡 (法政大学)

報告 友次 晋介 (広島大学)

“Revisiting ‘Nuclear Revolution Revisited’”

秋山 信将 (一橋大学)

“Transformation of the Power of Nuclear Weapons with the Rise of Emerging Technology”

REICHBERG Gregory (オスロ平和研究所)

“Nuclear Ethics in the Age of Artificial Intelligence”

討論 佐藤 丙午 (拓殖大学)

ROBERTS Brad (ローレンスリバモア国立研究所)

A-5 トランスナショナル分科会 責任者 西脇 靖洋 (静岡文化芸術大学)

テーマ 規範化する記憶・競合する真実

司会 西脇 靖洋 (静岡文化芸術大学)

報告 福原 優策 (東京大学)

「EU 共通の歴史認識の政治——欧州議会における欧州の歴史の記憶に関する決議の採択分析」

松寄 英也 (津田塾大学)

「クリミアにおけるロシア編入の論理の変容——編入前と編入後のスピーチのテキスト比較」

小森 宏美 (早稲田大学)

「ヨーロッパの記憶階層秩序とエストニアの政治・社会」

討論 小林 正英 (尚美学園大学)

山添 博史 (防衛省防衛研究所)

- A-6 国連研究分科会** 責任者 坂根 徹 (法政大学)
- テーマ 変容する世界の平和と安全における国連システムの役割
- 司会 福田 耕治 (早稲田大学)
- 報告 猪又 忠徳 (長崎大学)
- 「ポスト COVID-19 の紛争と災害の予防のための包摂的なグローバルガバナンスを目指して」
- 藤重 博美 (青山学院大学)
- 「『ブラヒミ報告』からの 20 年——国連平和活動の変化、課題、今後への展望 2000-2020」
- 望月 康恵 (関西学院大学)
- 「平和構築の新たな展開？——1990 年代の刑事司法機関の役割を事例として」
- 討論 清水 奈名子 (宇都宮大学)

◆10月30日(土)

分科会セッション B (12:15~13:45)

- B-1 日本外交史分科会Ⅱ** 責任者 高橋 和宏 (法政大学)
- テーマ 自由論題
- 司会 熊本 史雄 (駒澤大学)
- 報告 番定 賢治 (アジア歴史資料センター)
- 「国際人道法の形成と日本外交——戦間期における国際赤十字運動への関与と捕虜条約 (1929 年) 批准の挫折」
- 石本 凌也 (同志社大学)
- 「米ソ戦略兵器制限交渉をめぐる日本外交、1972-1979 年——被爆国である同盟国の受容と主張」
- 討論 熊本 史雄 (駒澤大学)
- 黒崎 輝 (福島大学)
- B-2 アメリカ政治外交分科会** 責任者 森 聡 (法政大学)
- テーマ 人権問題と米国の制裁
- 司会 倉科 一希 (広島市立大学)
- 報告 竹野 貴子 (南山大学)
- 「レーガン政権期米国のアパルトヘイト政策に対する経済制裁をめぐる米国国内政治の展開——州議会・政府、地方議会・政府における『準外交』の萌芽と外交問題の内政化を中心に」
- 村上 政俊 (皇學館大学)
- 「新疆ウイグル自治区問題に関する米国の対中制裁」

討論 西山 隆行 (成蹊大学)
松本 佐保 (日本大学)

B-3 アフリカ分科会 責任者 佐藤 章 (アジア経済研究所)

テーマ 自由論題

司会 佐藤 章 (アジア経済研究所)

報告 長辻 貴之 (早稲田大学)

“Electoral Blind Spot and International Observers in Africa”

大平 和希子 (東京大学)

「伝統的権威の変容と国家統治——ブニョロキタラ王国とムセヴェニ政権」

討論 藤井 広重 (宇都宮大学)

榎本 珠良 (明治大学)

B-4 理論と方法分科会 I 責任者 岩波 由香里 (東京大学)

テーマ 理論

司会 赤星 聖 (関西学院大学)

報告 政所 大輔 (北九州市立大学)

“Reconciliation as a Mechanism of Norm Diffusion: Japan and Human Security”

周 源 (神戸大学)

“A Formal Theory of Authoritarian Foreign Propaganda”

澤田 寛人 (防衛省防衛研究所)

“The Mercurial Commitment: Revisiting the Unintended Consequence of
Military Humanitarian Intervention and Anti-atrocity Norms”

討論 阪口 功 (学習院大学)

岩波 由香里 (東京大学)

B-5 国際政治経済分科会 I 責任者 西谷 真規子 (神戸大学)

テーマ 経済と安全保障

司会 吉川 元 (広島市立大学)

報告 高橋 敏哉 (松蔭大学)

「自由貿易制約への国家安全保障論の陥穽」

鈴木 弘隆 (元静岡県立大学)

“Aid-Based EU’s Economic Statecraft and European Populism: Is It Backsliding of
Integration or Integration by the Crisis of COVID-19”

討論 鈴木 一人 (東京大学)

奥迫 元 (早稲田大学)

B-6 院生・若手研究分科会 I 責任者 湯浅 拓也 (流通経済大学)

テーマ 国際関係における理論と秩序認識

司会 細川 真由 (京都大学)

- 報告 池寄 航一（北海道大学）
「レイモン・アロンの戦争観——冷戦とクラウゼヴィッツ」
渡邊 涼一（筑波大学）
「国際社会の制度構造と制度間関係——英国学派の国際社会論」
- 討論 大中 真（桜美林大学）
宮下 雄一郎（法政大学）

分科会セッション C（14:00～15:30）

- C-1 ラテンアメリカ分科会** 責任者 山岡 加奈子（アジア経済研究所）
テーマ メキシコ権威主義体制再訪——成立過程と経済運営
司会 山岡 加奈子（アジア経済研究所）
報告 岡部 恭宜（東北大学）
「メキシコ中央銀行のソーシャル・キャピタル、1952-1970年」
村上 勇介（京都大学）
「メキシコ権威主義体制の成立過程——1920-40年」
- 討論 ロメロ イサミ（帯広畜産大学）
渡邊 暁（東京工業大学）
- C-2 理論と方法分科会Ⅱ** 責任者 岩波 由香里（東京大学）
テーマ 実験
司会 土井 翔平（北海道大学）
報告 多湖 淳（早稲田大学）
“Micro-foundation of Quest for Status: Testing Status Perception and Multilateral Use of Force”
秦 正樹（京都府立大学）・浜中 新吾（龍谷大学）
「ワクチン確保をめぐる『闇の力』——日本とイスラエル世論におけるサーベイ実験の比較」
村上 剛（立命館大学）
“Beyond Racial Prejudice: How Security Impacts Japanese Public Attitudes on Immigration”
- 討論 ケネス 盛 マッケルウェイン（東京大学）
土井 翔平（北海道大学）
- C-3 国際統合分科会** 責任者 小林 正英（尚美学園大学）
テーマ EUの規制政治
司会 武田 健（青山学院大学）
報告 吉沢 晃（関西大学）
「EUの市場支配的地位濫用規制の対外的含意——3つのGoogle事件」

津田 久美子 (北海道大学)

「EU の国際課税ガバナンス——その規範パワーの考察」

討論 渡邊 頼純 (関西国際大学)

神江 沙蘭 (関西大学)

C-4 国際政治経済分科会Ⅱ

責任者 西谷 真規子 (神戸大学)

テーマ 経済のグローバル化と米国政治過程

司会 鈴木 一敏 (上智大学)

報告 吉本 郁 (東京大学)

「生産過程のグローバル化と外国ロビー——米国 FARA レポートの分析から」

手塚 沙織 (南山大学)

「資本化されたシティズンシップ——アメリカの投資家移民ビザプログラムを事例として」

討論 西山 隆行 (成蹊大学)

鈴木 一敏 (上智大学)

C-5 国際交流分科会

責任者 齋川 貴嗣 (高崎経済大学)

テーマ 自由論題

司会 齋川 貴嗣 (高崎経済大学)

報告 潘 吉玲 (神奈川大学)

「1930-1950 年代の徐逸樵の対日認識——雷震ら知日派グループの重要メンバーとして」

佐藤 雪絵 (早稲田大学)

「光州事件とアメリカの対韓外交——人権問題をめぐる国務省・米議会・韓国外務部の三者関係を中心に」

討論 家永 真幸 (東京女子大学)

小阪 裕城 (釧路公立大学)

C-6 環境分科会

責任者 渡邊 智明 (福岡工業大学)

テーマ 資源と環境をめぐる政治

司会 渡邊 智明 (福岡工業大学)

報告 玉井 良尚 (立命館大学)

「軍事と環境保護規範の相克——水資源の軍事利用問題を中心に」

近藤 重人 (日本エネルギー経済研究所)

「サウジアラビアの気候変動外交——経済的利益と正統性の追求」

中川 洋一 (立命館大学)

「第4次メルケル政権の気候保全エネルギー政策とその変容」

討論 蓮井 誠一郎 (茨城大学)

沖村 理史 (広島市立大学)

渡邊 智明 (福岡工業大学)

◆10月31日（日）

分科会セッションD（9:30～11:00）

- D-1 欧州国際政治史・欧州研究分科会** 責任者 池田 亮（東北大学）
- テーマ イギリスの戦後ヨーロッパ秩序構想
- 司会 池田 亮（東北大学）
- 報告 中村 優介（慶應義塾大学）
 「ウィンストン・チャーチルにおけるフランス再興の構想、1940-1945年——英米関係と英仏関係の狭間で」
- 南日 賢（大和市役所）
 「イギリスと西ドイツのオストポリティーク 1969-1972」
- 討論 川嶋 周一（明治大学）
 妹尾 哲志（専修大学）

- D-2 中東分科会** 責任者 溝渕 正季（広島大学）
- テーマ 東アラブの政治変動とイスラーム
- 司会 溝渕 正季（広島大学）
- 報告 池端 藍子（日本学術振興会）
 「『宗教の国際政治』というアリーナ創出——規範形成に挑戦するヨルダンとイスラーム諸国」
- 渡邊 駿（日本エネルギー経済研究所）
 「ヨルダンの権威主義政治と国家性——地方分権改革を事例として」
- 木戸 皓平（東京外国語大学）
 「外部介入を招く外交のコンシステンシーとインコシステンシー——2000年以降のシリアを事例に」
- 討論 錦田 愛子（慶應義塾大学）

- D-3 ジェンダー分科会** 責任者 中村 文子（山形大学）
- テーマ 女性による意思決定への参画
- 司会 中村 文子（山形大学）
- 報告 笹岡 伸矢（駿河台大学）
 「戦前の女性参政権成立における政治的要因——計量分析から考える」
- 甲斐田 きよみ（文京学院大学）
 「女性の世帯内意思決定参加を促す開発援助とは何か？——ナイジェリアを事例として」
- 討論 久保田 徳仁（防衛大学校）
 大野 聖良（神戸大学）

D-4 院生・若手研究分科会Ⅱ 責任者 湯浅 拓也（流通経済大学）

テーマ 国際関係におけるアクター間対立のメカニズムとその帰結

司会 馬場 一輝（韓国統一研究院）

報告 大谷 壮生（一橋大学）

「対等化の悲劇——日韓歴史摩擦の悪化と『地位』」

陳 兆昱（青山学院大学）

「ジェンダー多様性と国家間紛争——女性は平和を促進するか」

符 晨（青山学院大学）

「国家間の敵対関係は民族自決運動の結果にどのように影響するか」

討論 浅野 墨（早稲田大学）

湯川 拓（東京大学）

分科会セッション E（11:15～12:55）

E-1 日本外交史・東アジア国際関係史合同分科会 責任者 高橋 和宏（法政大学）

五十嵐 隆幸（防衛大学校）

テーマ 東アジアにおける冷戦と内政

司会 五十嵐 隆幸（防衛大学校）

報告 岡田 美保（防衛大学校）

「日ソ国交回復交渉における国際冷戦と国内冷戦の相関」

濱砂 孝弘（九州大学）

「安保改定と日本社会党——社会党右派の視点から」

三代川 夏子（東京大学）

「断交下における日台『外交』チャンネル——航空路線問題を例に」

討論 添谷 芳秀（慶應義塾大学）

川島 真（東京大学）

E-2 ロシア・東欧分科会 責任者 福田 宏（成城大学）

テーマ 戦間期東欧の権威主義政治——リトアニア・ユーゴスラヴィア・ハンガリーの事例から

司会 福田 宏（成城大学）

報告 姉川 雄大（千葉大学）

「戦間期ハンガリー権威主義政治における『ヌメルス・クラウズス』体制としての側面の解明に向けて」

門間 卓也（日本学術振興会）

「『グローバル・ファシズム』と現実政治——戦間期ユーゴスラヴィアにおける権威主義体制の分析」

重松 尚（東京大学）

「第二次世界大戦開戦前後のリトアニアの外交政策をめぐる議論」

討論 辻河 典子 (近畿大学)
板橋 拓己 (成蹊大学)

E-3 東南アジア分科会Ⅱ

責任者 増原 綾子 (亜細亜大学)

テーマ 民主化過程の統治が抱える課題

司会 増原 綾子 (亜細亜大学)

報告 小西 鉄 (福岡女子大学)

「インドネシアにおける経済権力と金融監督——『新興国のビジネスと政治』と課題」

岡野 英之 (近畿大学)

「タイ国境から見たクーデター後のミャンマー」

討論 末廣 昭 (東京大学)

松野 明久 (大阪大学)

E-4 国際政治経済分科会Ⅲ

責任者 西谷 真規子 (神戸大学)

テーマ 書評会『新時代のグローバル・ガバナンス論』

司会 山田 高敬 (名古屋大学)

報告 西谷 真規子 (神戸大学)

「現代グローバル・ガバナンスの特徴——多主体性、多争点性、多層性、多中心性」

小川 裕子 (東海大学)

「国際開発をめぐるグローバル・ガバナンス」

西村 もも子 (東京女子大学)

「知的財産権の保護をめぐるグローバル・ガバナンス」

討論 山田 敦 (一橋大学)

和田 洋典 (青山学院大学)

E-5 政策決定分科会

責任者 川名 晋史 (東京工業大学)

テーマ 米軍基地をめぐる政策決定

司会 川名 晋史 (東京工業大学)

報告 辛 女林 (上智大学短期大学部)

「地方政治主体を中心にみた在日米軍政策の合意過程」

大澤 傑 (愛知学院大学)

「独裁者と基地——権威主義国家における基地の役割」

討論 熊本 博之 (明星大学)

岸川 毅 (上智大学)

E-6 平和研究分科会

責任者 清水 奈名子 (宇都宮大学)

テーマ 移行期正義・国際刑事裁判と和解

司会 山田 哲也 (南山大学)

報告 二村 まどか (法政大学)

「紛争解決・平和構築における和解の戦略的目的」

下谷内 奈緒 (津田塾大学)

「国際刑事裁判における加害者と被害者の和解」

討論

小阪 真也 (同志社大学)

山田 哲也 (南山大学)